

事務事業評価シート

(H.30)No.	2154	(H.29)No.	2154
-----------	------	-----------	------

事務事業名	障害者相談支援事業(発達障害分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども発達支援センター	岡崎 みどり	

会計区分	事業コード	172011
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域生活支援事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者自立支援費	障害者相談支援事業(発達障害分)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施 策	2	障害者福祉
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
発達障害を中心とした早期発見・早期対応のため、障害児相談と連携することで、相談体制の充実を図ります。
事業内容
名張市子ども発達支援センターでは、子どもの発達を心配する家族からの相談に対応し、適切な支援につなげる初期相談機能を持たすこととしています。このため、言語聴覚士等専門職を配置している社会福祉法人に事業を委託し、初期相談の段階で家族に対して療育の理解を促し、円滑に専門相談につなぐことができる体制を確保します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	【障害者相談支援事業委託】 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施 ・相談支援施設開設(243回) ・相談支援等件数(235件)		【障害者相談支援事業委託】 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
【障害者相談支援事業委託】 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施	【障害者相談支援事業委託】 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施	【障害者相談支援事業委託】 発達支援に係る言語聴覚士等専門職による専門相談の実施

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		5,000千円		5,000千円	5,000千円	5,000千円	5,000千円
内訳(千円)	国・県支出金	1,793		1,546	1,546	1,546	1,546
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	3,207	0	3,454	3,454	3,454
人工数	職員	0.08人		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
	臨時職員等	0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	592千円	0千円	592千円	592千円	592千円	592千円
①+②総事業費	0千円	5,592千円	0千円	5,592千円	5,592千円	5,592千円	5,592千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度)の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など
・子ども発達支援に係る事業の充実のため、社会福祉法人が運営する児童発達支援センターとの連携を密接に図りながら実施する事業として取り組みました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
市単独で配置できない専門職員による支援を行います。発達支援の推進に当たり、子どもセンターを活用した取組を実施し、名張市内の全ての子ども達が地域や家庭の中で、安心して生活できる「産み育てるにやさしいまち名張」の実現を目指します。	名張市障害者福祉計画 ばりっすくすく計画